

「住んでみたい、訪れてみたい」 こんな山辺にするじゃん会の活動

～ 入山辺地区の将来ビジョンを考える会 ～

基本理念と活動の目的

《基本理念》

豊かな自然を活かして、
住んでみたい、訪れてみたい、入山辺にしていく

《目的》

- ① 豊かな自然を守る
- ② 地区内外に入山辺の魅力を発信する
- ③ 人と人をつなぎ助け合いと絆を深める
- ④ 昔からの文化や風土を継承していく

観光と魅力発信グループ



山辺ワイナリーに案内看板を設置



「入山辺のさんぽ」の制作

《コンセプト》

- (1) 住んでいる人に地区の愛着を深めてもらい、地区内外に情報(魅力)を発信する
- (2) 文化や風土、行事を継承していく

食農振興グループ



田んぼのわプロジェクト田植え



そばの栽培

《コンセプト》

- (1) 遊休農地の活用
- (2) 地区内外や世代を越えて一緒に作業(交流)することで、人の「わ」を広げていく
- (3) 特産品の開発

住みやすい地域づくりグループ

《コンセプト》

- (1) 自然環境の整備 (2) 子育てや高齢者支援



植樹 (H25は約80名が参加)



サロン赤ちようちん開店 (H29)



ゆめ食堂 (H30)

「イベントグループ」(H29発足) R1から「DIYグループ」へ

《コンセプト》

- (1) イベントで地域を盛り上げていく



移動・組立式のピザ窯
「じゃんドラ君」を製作 (H29)



焼肉ができる、災害時に利用ができる
ロケットストーブ



燻製器「ほったらかしくん」

活動のまとめと課題

● 成果

- 案内看板やガイドマップ等を製作したことで、地区の魅力を発信する基盤ができた
ワイナリーの案内看板前で会話が始まりました(住民同士、住民と訪問者)
- 集落案内看板(25集落)を設置した事でその周りをきれいにし、石を置いたり花を植えるところができている
- 若者や子供達と一緒に作業することで、地区活性化に向けた人の「わ」ができた
- 世代を超えた交流ができ、地区の絆が一層深まり、豊富な人材も発掘できた
- 他地区の人の参画・活動が生まれた

● 今後

- 若い世代の参画
- 次世代リーダーの育成
- 地域全体への活動の広がり

【するじゃん会全体では】

- 次代を担う若者や子ども達に目を向けた活動を進める
- 住んでいる人が「安心して住みやすい環境」だと思える地区にしていく
- 基本理念の「住んでみたい、訪れてみたい、入山辺」を目指した活動を実践していく

